

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 東浦町立緒川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒470-2102
愛知県知多郡東浦町大字緒川字八幡7番地

E-mail : hogashot@ma.medias.ne.jp

Website : http://ogawashou.blog119.fc2.com/

児童生徒数：男子 250名 女子 250名 合計 500名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1) ねらい

教育課程全体にE S Dの要素を取り入れて、全学年で実践を進める。

2) 実践内容

①教育課程構造図の改訂

オープン・スクールとして伝統的に取り組んできた個別化個性化教育の視点に、「自然との関わり」「社会との関わり」「人との関わり」や、「持続可能な未来」といったE S Dの視点を加えた、「持続可能な明日をつくる教育課程構造図」を作成した。

②「E S Dで育てたい3つの力」の設定

昨年度までの実践を踏まえ、本校の児童に身に付けさせたい力を「かかわる力」「問い続ける力」「行動に移す力」の3つにまとめ、学年に応じた目標を設定した。

さらに、4つの研究部会で学習や活動に応じた手だてを検討し、実践中。

③年間指導計画の作成

本校では、生活科と総合的な学習の時間を一体的な構造のものと捉え、総合学習「生きる」を編成している。そして、教科等の学習内容との関連を整理した「E S Dカレンダー」を作成している。本年度も児童の実態や学年教師の思いを基に、E S Dカレンダーを更新した。また、学習内容をE S Dの視点表で分析し、評価規準「E S Dに基づいた学習計画」を作成した。

④豊かな体験活動

体験活動が探究的な学習になるよう、単元構想や体験活動の計画、活動の振り返りと発表を通じた学び合いを大切にしている。

- ・ゲストティーチャーによる本物を知り体験する学習。
- ・地域とのつながりを知る「町たんけん」や、老人会の方々との交流。
- ・校地内の自然の観察、緑のカーテンや米作りを通じた環境学習。
- ・アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトを通じた国際理解学習。
- ・思考ツールを活用した、学び合う姿勢を高める話し合い活動。
- ・学習活動の様子や成果を「おがわっ子フェスティバル」で発表。

⑤教師の学び合い

E S Dの実践を共有し、学び合いを大切にしている。

- ・教科や道徳をE S Dの視点で見直した校内授業研究の実施。
- ・E S Dの実践を職員室内の掲示板で報告し合う「今週のE S D」。
- ・E S Dの実践や児童の姿を紹介する職員向け通信の発行。
- ・毎月行う研究部会で、各学年のE S D実践の成果を情報交換。

3) 成果と課題

E S Dで育てたい力をまとめ、学年に応じた目標を設定したことで、学習や活動における具体的な手だてが講じやすくなった。今後、手だての有効性を検証する方法を定め、実践を進める必要がある。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）